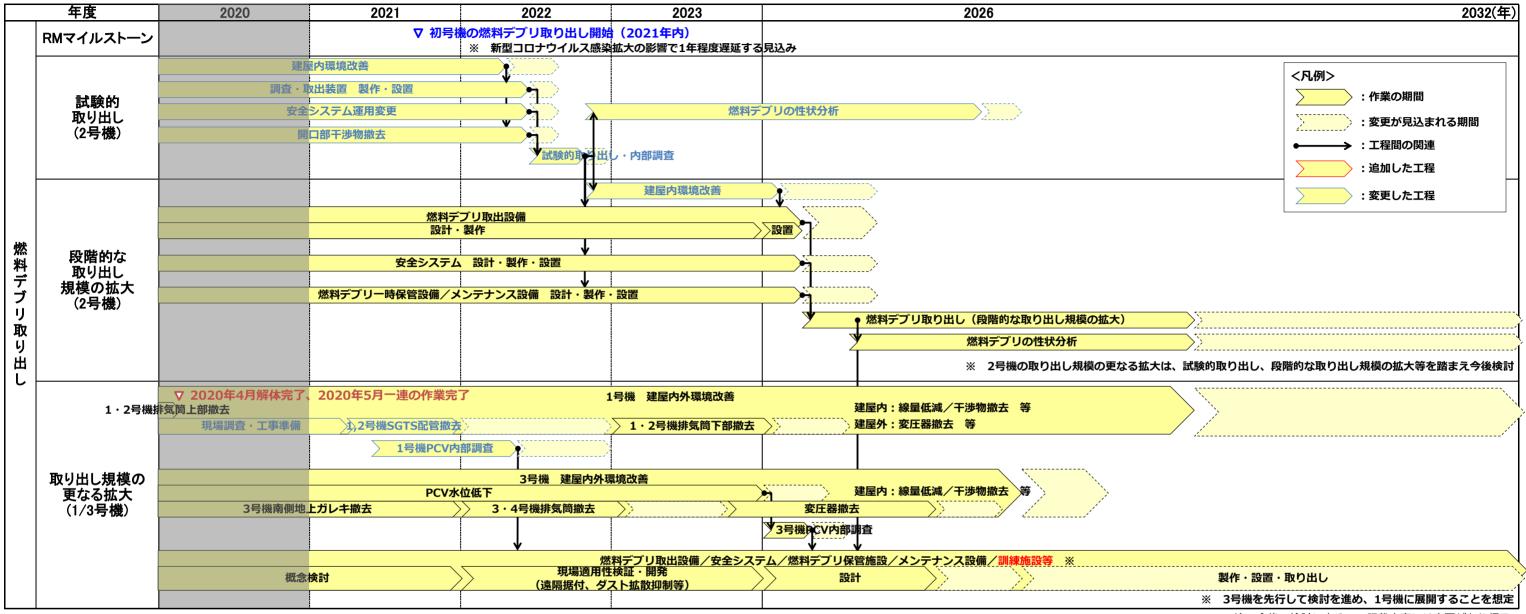
## 燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

廃炉中長期実行ブラン2021 目標工程	きた。 作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	5月			6月	プリ取り出し準備		7月		8月	9月		0月 11		2021/6/24現在 備 考
	原子炉油	(実 績) ○建屋内環境改善(継続) 1 日子 (予 定) ○建屋内環境改善(継続) 日子 (実 績)なし	9 16	23 30	6	13	20	建屋内環域2階線量低	± は改善 滅に向けた3階床面穿孔 準備作業・穿孔作	<b>9</b>	施時期間整中	φ	* £	9 7 2 9		建摩内環境改善 - 2階線機能等の準備作業のうち3階床面穿孔、20/17/20~8/31 R (82階の線量調査に向けた準備作業のうち、3階/ 関エリアのた面穿孔を実施。 - 2階線機関造 準備作業・調査 20/9/2~9/9、 20/10/7~10/9 - 2階線機関点 準備作業・引査・20/9/2~9/9、 22/13/12~4/9、6月~8月予定
	景 竞 文 董	会 (実績) (実績) (建屋内環境改善(継続) 3 (予定) (達屋内環境改善(継続)							建屋内環境改善 北西エリア機器撤去を	8よび除染 準備作業・2	農器撤去			安施時期	(2021年12月 完了予定) -	建屋内環境改善・総源調査20/2/19~5/22 ・総源調査20/2/19~5/22 原子守建用 能の線量期高・線源調査の実施。 ・準備作業/20/11/17~20/12/13 北西エリア機器勝左20/2/14~21/3/22 R/B1膨北西エリアの線源となっている制御態他の去。 ・北西エリア機器勝去および除業20/7月~21/12 予定
	格納容器内水循環システムの構築 システムの構築	(実績)なし       1号       (予定)なし       (実績)なし       (予定)なし       現場作業       (実績)なし       (実績)なし       (予定)										E7.600		5時期關整中		3号機原子炉格納容器内取水設備設置に係る実施計 更中華(21/2/1)
● 初号機の燃料デブリ取り出しの開始  ● 取り出し規模の更なる拡大 (1/3号機)  ● 段階的な取り出し規模の拡大 (2号機)	<b>善</b>	③ ○原子炉格納容器水位低下(新規)				ル内(CRD下部、ブラ ル外(ペデスタル地下						取水設備	病容器水位低下 设置		(2021年度 完了予定) (維練実施) (維練実施)	
の拡大(2号機)		共 続) (研究開発) 圧力容器内部調査技術の開発(継続) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			穴あけ技術・ 試験的取り出 燃料デブリ取出設備 著	調査技術の開発 し技術の開発									《継続実施 《継続実施 (継続実施	OPCV内部調査 DCV/内部調査 CA文字條料率申額由轉「19/7
が栄えていません。日からい	デ ブ ツ 燃料デブリの 取り出し	○原子炉格納容器内部調査(継続) (予 定) ○原子炉格納容器内部調査(継続) ○1/2号機SGTS配管撤去(新規) 環境 場合			PCV内部調查PCV内部調查	装置役入に向けた作業			1/2号機SGTS配管	撤去			3	(2021 作業)	年6月末より干渉物切断作業を7 監禁により来了時期を検討) (2021年11月 完了予定)	
		(実 績) ○原子炉格納容器内部調査(継続) (予 定) ○原子炉格納容器内部調査(継続) ・X-53ペネ調査 2021/6/29				装置投入に向けた作業	違加	X-53×7	調査						(2022年内完了予定 (2022年3月 第7予定)	PCV内部調査に係る実施計画変更申請(18/7/26 ・ 補正申請(20/9/9) ・ 厳切(21/2/4) ・ 19種PCV内作業部のダスト飛散事象を踏きえ ・ 19種PCV内作業部のダスト飛散事象を踏きえ ・ 19機に入り内作業部の対した はて実施することで検討か、 ・ PCV内部調査装画投入に向けた作業(20/10/2 ・ X-63ペスル技権物調店(対路) ・ X-63ペスル技権物調店(対路調査: 20/10/20 ・ 米と84ポイト報節の以 22/0/11/10~ ・ X-63ペス規模21/6/29予定
		(予定) (予定) (3号機南側地上ガレキ撤去(継続) 作業			3号機南側地上	ガレキ撤去									完了予定)	

## 燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

			燃料アノリ取り出し準備・スクシュール										2021/6/24現在		
分 野名 廃炉中長期実行プラン2021 目標工程	括 作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	5	月	Inc. In	6月	lar.		7月	8月	9月	)月	11月	12月以降	備考
	R P V / P E 力容器器の機能を M を M を M を M を M を M を M を M を M を M	(実 績)	語・設計・現場			腐食抑制対策(窒素パブリングによる原子炉冷却水中								(継続実施)	
	持	(実績)	業												
	炉 心 坎 炉心状況 況 把握 把握	○事故関連factデータベースの更新(継続) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新(継続) (予 定) ○事故関連factデータベースの更新(継続) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新(継続)	検討・設計			事故関連factデータベースの更新 炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新								(継続実施)	
		(実 績) 〇【【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技 術の開発	現場作業			【研究開発】燃料デブリの性状把握のための分析・推 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等	定技術の開発							(継続実施)	
●燃料デブリの処理・処 分方法の決定に向けた取 り組み	取出後の 処理 ・ 処理 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等(継続) ・燃料デブリ微粒子挙動の推定技術の開発(生成挙動)(継続) (予定) (「研究開発」燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等(継続) ・燃料デブリ微粒子挙動の推定技術の開発(生成挙動)(継続)	検認・設計			・燃料デブリ微粒子挙動の推定技術の開発(生成	<b>攻挙動</b> )							(維納実施)	
燃 料 デ ブ リ 取 り 出 し 準	悠野デブ	(実 績) ○【研究開発】臨界管理方法の確立に関する技術開発 ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発(継 続) ・臨界防止技術の開発(継続)	<b>设</b> 海作業			【研究開発】「燃料デブリ・炉内構造物の取り出した ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開		一部として実施						(総統実施)	
備 ●段階的な取り出し規模 の拡大(2号機)	リ 燃料 原界 管理 技術のの開発 投術 の開発	(予定) ○【研究開発】臨界管理方法の確立に関する技術開発 ・未臨界度測定・臨界近接監視のための技術開発(継統) ・臨界防止技術の開発(継続)	部 : 設計			・臨界防止技術の開発								(継続実施)	
	要 燃料デブリ収納・移送・保管技術の 収	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発  粉状、スラリー・スラッシ状の燃料デブリ対応(継続) 燃料デブリ乾燥技術/システムの開発(継続) (予 定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発  粉状、スラリー・スラッシ状の燃料デブリ対応(継続) 燃料デブリ乾燥技術/システムの開発(継続)	按			【研究開発】粉状、スラリー・スラッジ状の燃料 (粉状及びスラリー・スラッジの調査・保管にお		フィルタの性能評価)						(機械実施)	
			· 設計			【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術 (乾燥技術/システムの開発)	iの開発							(継続実施)	
	発		現場作業												

## 廃炉中長期実行プラン2021



注: 今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る